

## なかつえ

1月号

NO.425



中津江小学校・校内駅伝大会より

## 《村民憲章》

わたしたちは、中津江村民であることに誇りをもち、みんなで力を合わせて、明るく豊かな村をつくるため、この憲章を定めます。

1. 礼儀正しく、思いやりのある村民になります。
2. 自然を愛し、美しい環境をつくります。
3. 健康で楽しい家庭をつくります。
4. 資源を生かし、生産にはげみます。
5. 伝統と文化を愛し、教養をたかめます。

発行／中津江村  
編集／総務課企画情報係

## もくじ

- 2・3ページ ..... 新年ご挨拶 村長  
4ページ ..... 新年ご挨拶 議長  
5ページ ..... 新年ご挨拶 教育長  
6ページ ..... 中津江村農林支援センター設立  
7ページ ..... タイラーズワールド  
8・9ページ ..... カメリーン、中津江村を  
キヤンプ地に決定  
10ページ ..... お知らせ



を受け、法律に沿った準備を整え、更に合併の調印をする前に議会の承認を受けて、初めて合併にいたりますので、この前に村民の皆様には十分な協議を計らせていただきます。

なお、村いたしましても、村

民の皆様の損失、不利益にならないよう最大の努力をして行く所存でございます。

また、今年は日韓共同によるワ

ールドカップサッカー大会が開催され、中津江村ではカメルーンチ

ームのキャンプが決まりました。

地方の小さな村  
ということで以前

から新聞、テレビ、  
ラジオで話題になりましたが、この快挙は沢山の方のご協力とご支援によるものと感謝いたします。

いろんな方から祝福の電報、電話、お手紙をいただき、村民の皆様にも明るい話題として受け入れられています。

また、村外に在住されます中津江村出身の方も自分

つたと喜んでいました。  
これは小さな村と言われながらも、環境条件、施設の利点がタイミングよくムラおこしの流れに合致した挑戦の美学ではないでしょうか。

ここまで来ましたので、議会とともに村民の皆様のご協力、ご支援をお願いいたします。

テレビでの視聴者は全世界で四〇億人とも言われる程、壮大なワールドカップサッカー大会に中津江村が関わりを持つことは夢であり、ドラマではないでしょうか。

これは村が世界中から注目を集める千載一遇の機会であるとともに計り知れない大変な取り組みになりますが、このキャンプを成功させることで結果は後から付いて来ると思います。

地方の小さな中津江村を多くのマスコミの方が日の当たる場所に出してくれました。これは今後の中津江村の価値を高め、可能性を大きく広げることにつながります。また、ボランティアについても沢山の方からの申し入れをいただいております。

そうした皆様方のご配慮に対し

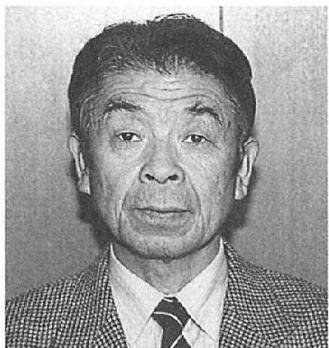
ましても感謝とお礼を申し上げます。

経済不況の中、未だに先の見えない不安な状況ですが、夢や希望とともに中津江村には大きな注目と話題があります。

新しい展望で未来を拓き、やる気、元気、活力の生まれる年と期待しています。  
皆様方のご支援、ご協力を重ねてお願いするとともに、ご健勝、ご多幸をお祈り申し上げまして、年頭のご挨拶といたします。



## 『合併問題については住民・議会・行政の十分な検討と協議を』



中津江村議会 議長

川野新平

同時多発テロ事件が、最も大きな事件と言えるでしょう。繁栄の象徴である世界貿易センタービルは旅客機が突っ込み、火災の後、崩壊、無残な姿となり、多くの犠牲者を出しました。

この事件をきっかけにアフガニスタンでは戦争となりました。ハイウェイ沖での実習船えひめ丸とアメリカ海軍潜水艦の衝突事故、これも悲惨な事故でした。

これらを含む事件事故は数え上げたらきりがないほどですが、明るいニュースもありました。

日本のプロ野球選手、イチローと新庄がアメリカの大リーグに挑戦、彼らの活躍に一喜一憂し、テレビ放送にくぎ付けとなりました。

新年明けましておめでとうございます。

平成十四年の新年を迎え、皆様方におかれましては、ご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、二十一世紀の最初の昨年はいかがな年でありましたでしょうか。良い年でありましたならば幸いに存じます。

平成十三年を振り返ってみると、まずなんといってもアメリカでの

こうした現状が早急に打開され、明るく希望のもてる農林業の実現を期待いたします。  
昨年末には皇太子、雅子妃に内親王様が誕生となり、長引く経済不況に沈みがちな中で、一筋の明かりをともしました。  
これからの中親王様の健やかな成長を祈念し、心からご慶祝を申し上げます。

また、鯛生スポーツセンターが世界最大のイベントであるワールドカップサッカーの公認キャンプ地として認定され、国内八十三ヶ所で最も小さな公認キャンプ地として話題になり、マスコミにも大きくとりあげられました。そして『不屈のライオン』と称される力梅ルーンのキャンプ地に決まり、

正式調印となりました。本村でのキャンプは三週間行われますが、大きな波及効果が期待されます。

カメルーンのサッカー協会長は

「サッカーだけではなく、さまざまな分野で両国の交流を深めていきましょう。」と提唱されています。全村民を挙げて歓迎し、盛り上げますます厳しくなっていますが、

のにしていきたいと思います。

何よりも大きな課題である市町村合併問題は昨年から動きが活発化しています。全国三千二百余の市町村を千程度にということで合併案が提示されています。市町村には文化や風土、歴史、地理的条件等により、それぞれが異なり、地域の個性や環境も様々です。客観的にみて合併効果が大きく、将来展望が期待できる地域とそれが明らかでない地域があります。

議員も議員研究協議会を重ね、いろいろな問題、可能性を研究しております。中津江村はどうあるべきか、行政、議会、住民ともども十分に検討、協議していくことが大切です。市町村合併は中津江村の存亡にかかわる最大の問題であります。あくまで自己責任、自己決定のもと地域住民の意思を十分尊重して進めることが重要であります。  
議員一同、皆様とともに中津江村が夢と希望の持てるふるさとなりますようにまい進することを誓いました。新年のごあいさつといたします。



# 山林の蘇生と技術の伝承を

村内有志が

## 中津江村農林支援センターを設立



**質問**

今回、中津江村農林支援センターを設立された理由は何でしょうか。

**石鞍**

他の町村が林業会社を設立する以前から中津江村でもこのような話しはあります。たが設立には至らず、今日の現状を迎えました。林業を基幹産業とする中津江村

ですが、近年はその林業が不振に喘ぎ、間伐、枝打ち、下刈りが滞り、山林労務者の後継者も少なく高齢化が進んでいます。このままでは中津江村の山は荒廃するばかりであります。将来、林業を取り巻く環境が好転しても山林労務を行う人がいなくなってしまいます。そんな現状を今何とかしたいと思ふ人が集まり、今回の会社設立となりました。

**質問**

林業に関して、中津江村の課題は何でしょうか。

**石鞍**

中津江村の山は地形が急であり、気候の影響によるのか葛の繁殖が旺盛です。葛は木の成長を妨げ、下刈等の手が着けられない状態とな

**質問**

どのような業務での運営を考えられていますか。

**石鞍**

山林労務全般の受託と農作業の代行を行います。

近年の林地の大規模崩壊は搬出コストを重視するあまり、地形の険しい所にも重機を進入させたため地表が荒れ、自然本来の力での回復ができなくなり、大規模崩壊が発生、結果的に大量の木を消失し、大きな損害となります。山主の方もそのことは理解されていますので、搬出にあたっては、なるべく山肌を傷めない索道による搬出を行います。

索道は技術と経験を必要としますので、若い労務者への技術の伝承も行いたいと思います。

もちろん、これらの木は数十年前に植えられたもので山主の方の判断によるものでしうが、今後はこうした点についても行政の指導が必要だと思います。いずれにしても中津江村の全面積の九〇%以上は森林であり、主要産業が林業であることは間違いないありません。

諸処の問題に直接対応をいたぐ行政機関は村役場以外にはありません。

今後、村の林業が盛り返すためには村行政の協力が必要不可欠です。

林業に係る施策、知識、指導ができるような専属の職員配置も検討をいただき、林業振興へのご支援をいただきたいと思います。

ります。また、伐採の時期を迎えている木は市場での価格が低い樹種が多いようです。



# Tyler's World

## 『中津江 Let's GO!』



あけましておめでとうございます！

2002年の中津江村はすごい年になると思います。

坂本村長とスポーツセンターの長谷所長、おめでとうございます！ご苦労様でした！カメリーンのキャンプ誘致が決まり良かったですね。

カメリーンが中津江村に来ると言うのはすごいことだと思います。

この実績は国内外に高く評価され、その評価が中津江村の若者に大きな自信を与え、若者達は自分の村に誇りを持つと思います。また、役場職員、村民、スポーツセンター職員にとっても素晴らしい経験になると思います。

カメリーンチームの中津江キャンプが成功した時、スポーツセンターの利用者は質・量ともに大幅に増え、キャンプ受入に携わったスタッフ自身にも貴重な経験と高い評価が与えられるでしょう。素晴らしいことです。中津江村にも『おめでとうございます。』と言いたいです。

村はどんなに小さくても人がよければどんな大きなことでもできる！がんばって、村民全員の力を合わせてカメリーンを歓迎しましょう！

また、去年の夏、中津江村で森のアートキャンプ、森の展覧会、ホースプロジェクト等を行いました。その後、多くの中学生は国際的なことへの興味も大きくなりました。現在、中津江村はアジアのアート界からも大きな注目を集めています。ホースプロジェクトの若手芸術家石井潤一郎氏は九州のアートの世界でも、かなり高い評価をされました。今年は東京芸術大学の教授や北九州市立美術館の学芸員等の協力も決まりそうです。去年以上の大きなアートプロジェクトとなるよう日本と韓国の代表的な芸術家や芸大生の協力により、面白い展覧会や夏のイベントが実施できると思います。期待してください。

最後になりましたが11月にUNHCR（国連高等弁務局・東京）にふるさと祭で集めた、62,306円を渡してきました。

とっても感謝してくれました。

皆さんのご協力ありがとうございます。

2002年もよろしくお願いします！

Tyler

